三世二河白道

乙京
388
別置
5-5
2-2

国立国会図書館　タイトル『三世二河白道』 請求記号 寄別5-5-2-2
ガラス使用

三世二河白道

高尾犯言八
はじめ也
土佐ゆ写本

京江
388
刷了

国立国会図書館　タイトル『三世二河白道』　請求記号 寄別5-5-2-2
ガラス使用

家傳秘密乃奥旨ハ木下氏ノ伝ル
章句を世上ニ弘ム是一流と称ス人
ものなり記者こゝ所ノ次第ハ
寸毫も形ふ之法ものなり

寶永五戊子初秋上旬

土佐少掾橘正勝

大正
8. 6. 4
購求

国立国会図書館　タイトル『三世二河白道』　請求記号 寄別5-5-2-2
ガラス使用

近来土列の一曲は俗と離れ風雅を尊び楽を利休の系統に求めんとし
なべて風流を求めんも亦楽しからずや予も此度教を受て今
言葉の内に其意を含み章句に弘しき事教へ給ふと
いへども一芸の徳あり書は第代の筆一世の光
華百万の俗と恐れ千度相会し百度相廣しく
清濁と撰ぶと道と云つべし故ふるまひ教の慶び
御ふ流儀を筆紙数と減ぜし流の雅をとどめく
あやまりなく書をもつて
伝を思ひ教の正本お、
今改

小傳馬町三丁目
本下甚右衛門

三世二河白道　第一

教義書後世和歌雅のとなかき
ばかり人間世界を見ぬ
きびがはまへかと思る。機嫌をかざうる
つくりまうさるべし民猿と。海内の九
合者時世とそ人をもおく白川乃。毛者
呼まいへとなく。万宝者ぞく行のもとに
まろせぬ中を明く。ちるかゆより家乃面

作。文才清奇。素行正。性
あくまでよかるべき書を明
かくぎ次。おくひくことを
稽古。家のうらにすとし
美て比丘尼。ちりをあ
いうんそけるかくあ
兼り。大くさのぬかを
つ。ほうかの人。
ほくなぶるを
とは。

とひうあの明日は。毎年ごとれんのひまをかり。
ゆくひ家臣の男女をこぞひあつまる。
見物のゝ出かわり。れんそまゆぶ。
ふよけるを。ぞろあのそんわ。ば義
いうぐとうへ。ゆくこんぎを一同よ。
みきあんり。こんこうよ。
べゝとトまべ。ゆりを。ぐ特世。
あつがしのくさりとそ。能そ比ぐ

ちゃうと。家屋敷。ずいぶん。ずいぶんと。
ちゃうと。ずいぶんと。それが。
へまつ。ちゃうと。月。中の。月。
物。ちゃうと。ずいぶんと。
ちゃうと。ずいぶんと。
ちゃうと。ずいぶんと。

ニハン
ちゃだいてさてまりさ、さんごぶりわふのびば
うへ分をぞ。さてうつてつ。ちとらかぶいそぞ元
とちとんまふよ。まちだんでやうるだうつうと。
みぎさすじて。ちかしく。金銀さんごぶかぶ
カハル　キク　ユリステテ
まつ。番よいたうるぶるとまうか。月と元
とと。とりん。御ん。さるいやくに年まうる河
ジれとひの。河とよう。ひとふるそも
カハル　サナイ　ニ　ケ　ル　ク
たすらんまくかけ。御ん。そぞれ
ケ　ル　ク

ばる。円ぶ色さわのまうとぶいそぞ言ぶそれ
う。姫ぶ。ものれぞ。ところまうり出と。
いとふさ色くぶ。ぶさんごにつこと
ウハスレ　カハル
ぶ。ぶかぶよ。ちぶや。樹ぶ。ぶ。ぶ。
ちぶ。ぶくに。まうらうそさうこ。金
てにそいけうぶと。作はきば。機ぶ。又一ぶう
ウハスレ　カハル
れぶよ。ぶいそぞ。ぶありそそれぶ。ぶる
かうぶ。ぶと。ぶ。ぶひとせと。姫ぶ。作

てゐへ。ゐ。まいまいまのせとぶ。ぶとまばさうんど
ゐ。ゐ。ゐ。

ゆく神いづれも年二神のあれまつりとて
をゝ年よりおづいうめくきぐうらうわれば
なりていめ乃ゝ（カミル）をゝうべるもりうをひ
ゝきおびて推うゝわくべきとべるしと
きゝうゝいるゝ（トル）ゝ者ゝ（トル）ゝ
ぞとゝけぐせ（リ）ゝ姫ゝ（ヨ）ゝ
づゝ（ありギン）ゝ者ゝ
ゝ者ゝ
ゝ者ゝ

ゝ者ゝ（カミル）ゝ
まゝ（大スベシ）ゝ
ゝ者ゝ
ゝ者ゝ
中ゝ上ゝ面ゝ
ゝ
ゝ

引合めてたさわしいものはいと
やれ者共をくくとすまあはせばさふんみる。
色い葉ひよのかれうもあるいもかなり。
源さえ家のよはとはびるふ浪りはすも
柳のふるぞとへ立ちぐいくいぶや清
寺と鳥ゝ。見物せんまとれくと方公義へ
立むくかあれ役はとあるとも我きもくと
いくみつ海つりふるとそ上へ
ゝ
ゝ
ゝ

きぶ神殿を一日ゐる。色みの色彩もみだる
るの。巴蛇はいづがれと。侍をば破りいらんを
もて。ていたゐわいてくるまむいらんの毒りぢよ
中方。巴男接形をなるとこ義をつくしぢる。
ゑまいりてゐの。そ女中と。一産ぢをこれ
のまめとこぶ。とてぢつくそつかりと。女の
出るなぐ。ちまいかこうもとこぶ
ニ。コンキンムスヒ　カハル　ハル　くにここ
されかへさすりて。ゑへ。ゐる。色こうはぐちぢはう

とも。さらぜんてゐちぢはぢ。女中計の
さぢ乃門。新くとそ。侍。おのく方の
おわまるゐをよぶ。ぢ。化不へ
はこうはく。まおのひるはへりのと。嗅
嗅出来ゐまう。ぢ。ぢくとづぢ。
ゐのつく二人の。ものぢくしこと
ぢらりとゐてなの女中と。ま。ゐよ一
産出ぢ。ぢ。ぢつとまいぢ及びゐ。

かうべこだんかみこぐぞいうくとかは。
どうくくみこのしにはるかるるあ成
大ムスヒ
おこうまきこそんあ来まきはこうぐ
きびんあ中にあるしあぐくもこきまれそ
あてはなりてはてかれはこれはぐそちり
とうきくくもんんとこ二人がかはるをうつ
うこびかくつこさうぐやとそ二人一家よ
きあはまびさくもきまんのちうらぐそちぐ
あ計月もとくみ。長ゆるぎこうう
ぐくに用あぐらにはるみくくこるひくびく
りまば。長こうはぐきびあ矣ひこうらふ
ゆうもこあまは。命にゆるすと者とてあり
ぬつこあびあそこうまいうくこうらぬ。
うそかまびびかは。町の者共がうり月
さび。長おこうせとさうんくよ。一番にもう
ぐりおさうまびこうびこうおまくこう上通こ彼

先ずはまのあさぎのすがたぞうや
くしめでたくみとうの海つの秋の時
清風ぐんぜいらくれ見えわい面のうりあるぐんぜい
とて出そんこそれ打ちまくいたかんぜいぬ者が
とぎするのりまま

第二

そもそも浦の面の人金五兵衛出雲ル紙屋宗九郎
と相撲の面。毎夜傍厨。宮房のむく

ま姫ゆうが祖父ハ川えあ[illegible]ぶ[illegible]ら
[illegible]ぬる和のひとびとの[illegible]
が揚[illegible]ら中立[illegible]
らさ[illegible]ひとへ[illegible]
たびひ[illegible]男[illegible]
まぐ[illegible]
ば。金銀のかうらの。三人むすひくお生れ松
ハ[illegible]ふ[illegible]

国立国会図書館　タイトル『三世二河白道』　請求記号　寄別5-5-2-2

ガラス使用

いめでたうりゐる上まづ三ぎ物。三ぎ物。三ぎ物。三ぎ物。
ぜうぜうもろ〳〵。ぜん百ぐれんのさいまつり。
大さうるふくとり。面白くを高り。
匂ひ家家。ぎ物。雑のそ。たゝ。ぜうぜうそら
まぶ。ぜ。ぜ。ぜ

なつ高ぶくれのひつぺめをあびせかけ
ひつぺよせんとこそれうひとこれのてい。芋屋ぶ
鎖へくもせのへく。一家の若たちうしろ
神妙ぶるひ丸ぜひたく家ぶ。素こ宮ん
若たよくやおこんぐずんぐこうぶわたのの。
今高ぶらとそそとぐあこ家みぐうるれ
うぐ。赤飯一家のぬ家ハ。若の川ぶとあろ
さ三ぶくそれぶ夜人くもせ夜。ぐくけこ

けぶ。姫をり立家ぶ。伯かもくくあけ
まぐ。夜ひとつのあんぐこうり。ハ夜むこと
定めくぶ首ぶれんりまり月陽。郎くに
くもひし。浴田のた人宮特世くそこ日
てハけぶのん。家事の時ぶ月ぶ田て。蒲
ぶたくハ出ひハり。どうぶくくて年のあぶのて。
姫ぶ行立家ぶ。ものもくむうあのわび。
と附くそハ行くり。金あうぶ宮ぶ田ぶ

国立国会図書館　タイトル『三世二河白道』　請求記号 寄別5-5-2-2
ガラス使用

し。ゆかまとびさせ。ばしばしいうと。ばけ
ばうさんさて。はなしてい。とも。せいこさ
のあこ。こを。見えんの。ちばこそ。御ゝべ用こ。信。
えやこくこくとそれ。ゝと。こを。後のあ。ある。成まら
まく。いせこやのこぐこうけの。教。信。成。行。立
てひのぶ。ゝるひ。ゝこうぐこ。むの。ありこの。ゝ。造
ゝ。ゝ。ゝ。

うへ。ばかるまでぐ。おもふ。ゆ。さうんど。ゑこ
はぐ。ぐ。ぐ。

国立国会図書館　タイトル『三世二河白道』　請求記号　寄別5-5-2-2

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『三世二河白道』　請求記号　寄別5-5-2-2
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『三世二河白道』　請求記号 寄別5-5-2-2

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『三世二河白道』　請求記号　寄別5-5-2-2

ガラス使用

けて。まつのゆりたる尾をとりて。あつまを
ゐるのをつゝさ。おなじのをつゝ。
わを我朝にもつれて。馬。最はやとて云大尾ゞ。
びくれ一産稚ゞ。はさりのくさのど
くれ。ゆるのをつゝ。ゆり。毛さたりくさの
ゆゝゞりとけ。しゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。
とゆつゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。
ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。

わりとわゐまべ。とさけゞとさけゞざる。世
ゆとしゝる毛持わり。さゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。
よわゐてたゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。
ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。
ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。
ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。
ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。
ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。
ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。
ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。
ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。

国立国会図書館　タイトル『三世二河白道』　請求記号　寄別5-5-2-2

ガラス使用

ひ。ぞんじ給ひしつ。ものあるごとくのいむけ。ろ
ゝ言をれゝくれゝく。御あわつざる花のごら。を
もゝ表をゝる人。よんやせまのらせゝくらひゝく。
業に及びの人。遣り表せゝくことぞんよのう
ひゝくゝとゝり。此御あひづ。怪びまきんゝ
くゝとひ。ゝ尾ゝひゝ人。の情の花
の色御あわつざかりゝ。ゝ。ゝ。

国立国会図書館　タイトル『三世二河白道』　請求記号 寄別5-5-2-2

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『三世二河白道』　請求記号 寄別5-5-2-2

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『三世二河白道』　請求記号 寄別5-5-2-2

ガラス使用

ガラス使用

まるゑ作乃。かぐるかてゝ
まつれべまつ乃車とび。みぐれ
ぬ乃。むとさゝくべつるゝ。
らでんじのぐゝ。みとぐれ
かりうでやゝやゝ。
きやうとかくやらん。
ぐれて。ゝ。むとゝ。
ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。
ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。

でんぐやうごうの指よりもとゝ。せゝとゝ。
ぐ松の葉のちりすぐせぐ。
ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。
ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。
ぬゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。
せゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。
ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。
世の乃。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。ゝ。

国立国会図書館　タイトル『三世二河白道』　請求記号 寄別5-5-2-2

国立国会図書館　タイトル『三世二河白道』　請求記号　寄別5-5-2-2

ガラス使用

ばいとのきべ。そ山ゑ尾縁ゐ尺。
とあ(ハナデ)ばきこの尺(ビ)まゐ(ハ)かく(ク)ゑ(ヒ)尺(ヒ)ゑ(ヒ)ゑ(ヒ)ゑ(ヒ)ゑ(ヒ)
いいぞとんこうまわ。いよ(ハ)ひまひ(ハ)ぶ
そらくいけいよ。ふ(ハ)ゑの尺(ヒ)ゑ(ヒ)ゑ(ヒ)ゑ(ヒ)ゑ(ヒ)
ゆ(ヒ)ゑ(ヒ)ゑ(ヒ)ゑ

ぜひたん。かづけくるべうせん。さの通長へ
いっけくとうまぬぎんまいぎこけくたりと今
ねとうへ。暮たらぎうしろ。カ川ぬさ
ぎくを。暮（カヘル）暮たらぎ。ぬ通まるを（ンリ八）ぎ。ろ尾
ぎ。一方うせたつとへり。カ川ぎひ
れくをぬ梅ぎたんるあやさのさし
ところぎいたといぎ。ぎたあのとへ。ろる

（カヘル）ぎ。ぎうくくたろ通（シス）ぎ。ぎ（カヘル）ぎんやたくとぎん
ぎ。ぎ（ヒミジ）ぎ。ぎ（イロウ）ぎ。ぎ。ぎ。ぎ。ぎ（カヘル）ぎ。ぎ。ぎ。ぎ。ぎ
ぎ。ぎ。ぎ。ぎ。

あぐらにて坐りて、ものをひとぐばりしてはゐ。
恋の極くに成り。嫁（カヘル）よりあぐんのちぐちぐ
一生懸命よりあぐこと。
あぐりをれ

祖市女

縁の糸をすぐかげの。くるまをかやや
おかる。後。右帝ゑんぐやうゆ。
なのふむさしの。恋。おかるものは。

実は

まもとは所よりあるとと義。さうんぐ形よ
を面りわふ。後よ紙社。仏間や。石和ふう
さきは孫ぬ。うきぐび高きすり。鬼と。
わるいのため。さうにより（ナガニ）（ヒトヤツ）ちわまぐ。
右ところ。死（キンムスビ）ふうさ。
かぐぐのみ。ぐ。ぐ。家（ルイヤ）ぐ。
ば。東（ニツ）のみぐ。ぐ。ぐ。ぐ。
大ぐ。ぐ。ぐ。ぐ。ぐ。ぐ。ぐ。ぐ。

国立国会図書館　タイトル『三世二河白道』　請求記号 寄別5-5-2-2

ガラス使用

あるくいはれなき。一見乃者あるべからずと
時をり乃つぶやき。かの乃ものみだりに殺害
よりの色と作る。偽りなくけ嘱よりあきらかの物
ぬすびとりて。ぬすびとけ。ぬすびとと
ゝ。毛髪のみだれ。黒白世ゝ。
言尾ゝ。諸人ゝ。中ゝ。
源川ゝ。故方の人ゝ。
やうきせゝ。

とまうせ。ものの言ひ方。
乃ちづゝ。の。悪ゝ。
未の先。ゝ。
ひとゝ。
もりて。ゝ。
ゝ。
ゝ。

国立国会図書館　タイトル『三世二河白道』　請求記号　寄別5-5-2-2

ガラス使用

書とへ(いそ)年う作のこけるぞ。されべ世そはるこ浮世
とのこそへ新ゆく。うきみ(ウドキ)たる今を特世とて。
ゆらげ三世ど、弟ゆ(ト)ゆ。まどもいかに(カヘル)。恥しれ。
とりてやくへ(ユリモドシ)ふたれく。迴向流行の姿あと
ありめづり年とこひあ。今年とて雅の。
糸すこ。みぶれて又おわれ(上カヘル)後代ぶく
焼(イヤ)さ。笑(イロ花)長とこ沿らんぜとおまを
ぬぎ拾く。書く作ありきべ道新とこ

とまとおて。拙くいこ比ちの紙べ
拙俳に俳し。源川へ書りつ。だのあんをもべ
しかり(カヘル)そあるぶら見。そもむ多生乃。あん
とやよ(ヌスヒ)べこ。かり(イロ花)そあのすきみの一日ま
とかもども。る雅とむとよかの方べ。
俳りあぶずいこ新こ。也人のむふよる
見べ。一人の合仏とこ。ぶあうわまとと
ける。姫書とぶぶりべと。一所よ書こ書

国立国会図書館　タイトル『三世二河白道』　請求記号 寄別5-5-2-2
ガラス使用

ゆうまこの成等正覚えやうがいの夢
ごの為をすくはうとて。名をあつうこそ
小都多と契深く。
とげ 法花とわざ
ものかよ身にぞおむ
げろひく塚のしろ
ぐるるわれなの
たることゆひく。

見をわるまじきされば法華経。
人のこゝろ
し。そのれうをうるもの
海くひ。たゞ神妙
まうら川竹のあ
かくし義よわひをあ
おづあはせうらさへ
世ろさ恨

国立国会図書館　タイトル『三世二河白道』　請求記号　寄別5-5-2-2
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『三世二河白道』　請求記号 寄別5-5-2-2

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『三世二河白道』　請求記号　寄別5-5-2-2

ガラス使用

きさう。たうとをとろつかぎつくぶだ
ふうへいなる。ながしなるのちひろ。まぐ。ゆうたいすなる
とぶ。はるう。はるぐ。ぶいのまひは。合ぶだ
ぢれなとう。うきせのゆへ。いそがる。わつて
きつぐだのうたやくぐこさえんえてあまべ
て。ぶかんぜね。ぶがこ。ねつりあれ

ヨハネ

基督。基督。くるやゆ。秘さねく。ふ。ふりすてのやそ

ヨハネ

ぶ。ゆ。ぶ。ぶ。ぶ

国立国会図書館　タイトル『三世二河白道』　請求記号 寄別5-5-2-2

ガラス使用

もこりのかたちにそもかく人事に侍ぐうる事乃。
車天こゝぬべきさこゝ仰事ゝ天し女ひうらのそ
ハれ侍わをゝうらら侍ちとんこすむるよ
事りつをゝ女ハ白ゝもんがとゝ。かゝの業
はくぎくゝ天ゝ事ゝ。上ゝ
ハかゝのゝ事ゝ世の女ゝ者よゝ意
ゝこゝ侍里ハゝくゝ侍ゝ者ゝ姿

かゝ侍ゝ上ゝ
ゝ中ギン八方白白ゝ
なゝゝ中ゝ帝ゝ
ゝ中ギンハ天のゝ
ゝ中ギン
ゝ中ギン
ゝ中ギン

ヨイコ　所ナヤ　尾
つ。いのせ　ひ　ふ　く　で　た　が　く　わ。イロ光　白　う　ひ　の　ち　ば
と　ち　と　ば　ひ　ろ　う　ら　ら　ル　ニ　ル　ル　ル

さうるに。あんぐすぎるかくすぎ
まるすみにたがつまるとの
かせうに。なるべくもいたずみくもいたづく
ちうべやかあひつとすれ
ばりの。わそぎすとひとこと
ばりやさまわぶ。業むうべあいてそまれ
のいるをしかそさあて。作まとべたあと
すをさせるひりそ年毎よふへてすが

の様や。世ぶ私とうへ。ぶあぐ。けるがいたを
そたぶくぶが。恨うそ。ほ。一段
ひうとむまてさつけたがさとかうて一節よ
様。ぶ。世せば。まんぶうへまむふうとまに
ホうるかてぶ。雲井。たるがすメテ
さうは。ちくに女のみあ。
女百様ちんぶごんぶの。
ちうく女雲ぶあげ。さげ

うづまとをれてくぐるこそ
みちしやまをのぼるこの
まをまつぶ。まうをぬ
ぬまをみすべてぬぐこと
つまをとをれてぬぐこと
つまをとをれてぬぐこと
つまをとをれ

年毎の。そよ月のすゑつかた。ことひのうるはしき
身らはまばゆく。あまぐもたなびき。ゆきかぜ。
ぞかたかたに。梅女の門よ。移さむる。あれ。
あるひは。ゆりぎ。ゆりぎ。ゆりぎ。ゆりぎ。
花の。ゆりぎ。ゆりぎ。ゆりぎ。ゆりぎ。
しつや。ゆりぎ。ゆりぎ。ゆりぎ。ゆりぎ。
とさ。ゆりぎ。ゆりぎ。ゆりぎ。ゆりぎ。
ひ。ゆりぎ。ゆりぎ。ゆりぎ。ゆりぎ。

ゆりぎ。ゆりぎ。ゆりぎ。ゆりぎ。
ゆりぎ。ゆりぎ。ゆりぎ。ゆりぎ。
ゆりぎ。ゆりぎ。ゆりぎ。ゆりぎ。
ゆりぎ。ゆりぎ。ゆりぎ。ゆりぎ。
ゆりぎ。ゆりぎ。ゆりぎ。ゆりぎ。
ゆりぎ。ゆりぎ。ゆりぎ。ゆりぎ。
ゆりぎ。ゆりぎ。ゆりぎ。ゆりぎ。
ゆりぎ。ゆりぎ。ゆりぎ。ゆりぎ。

国立国会図書館　タイトル『三世二河白道』　請求記号 寄別5-5-2-2

ガラス使用

ふのうそへ物をとりてやうちなのと
あるへらとあるかみぶくれくせもの寒合の
いぶくるを二つ二つ作りて
あるせわそふかちまけ。はまはしてこそ
よばまんぐう言ろうゑん碁のまとき
わく一石をさしたびごとに。ごとくにかり。ゑん
ぐう寄ふのまをけったねをうちたとせんは
こそへ一石の。水女ぐわしたるみるに碁は

物女ぐわしたびごとに。ごとくにかり。ゑん
碁そひまへ。ぶくれ。嬉しく。海キあめぞと。
まんぐうのいまをとろう。ゑあ一まへいん
と寄。水女をけるとうつ。ゑ悔めや絲
さはやまとくこの碁へぐそやけること
今の作るそ青のあめいけどもあんよ
くらへ。ゑ。そびけはんさくらぐれつの。
ごだんのこ立たびへ。ゑ。うりぼ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

国立国会図書館　タイトル『三世二河白道』　請求記号　寄別5-5-2-2
ガラス使用

ゆきやどきせんとかねてあらかじめ
こしらへおくべきなり

文六

[illegible]
あらかじめ[illegible]
[illegible]
[illegible]

号。芳吹兼り。相模の国の住人。かぶき侍
と。花人に枝ぶまれて。かぶる。
すること。上わかく。と。浦
が。彼に。名を。かぶる。
ぶりを。ぶりぶりと。
じと。あびのみ。ふりく。浦が。
月のみ。ぶりと。ぶらぶ。
と。身。物。すり。遠。そ。
者。よ。ぶ。ぶ。ぶ。
ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。
ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。
の。ぶ。ぶ。ぶ。
ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。
ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。
ぶ

とゝ[illegible]つゝゞ。今[illegible]のゝ[illegible]ゝ。[illegible]時
よゝくゝゞめゝくゝゞいゝたゝのゝ[illegible]ゝ。[illegible]
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ。のゝれぬゝゝゝ

京乙 貴重 388

じゝ。ぬかりなくさそ尤人今文不
れしてこてび弟に海原まつり。篇
とをつけるこ秋万蔵員出家と生涯と
下りるこ。ぬかりなくさそ者と長をつりまれ

三世二河白道巻之終

右此本者太仁收據橋
正勝直之仰章句附秘
賓音節遂校合令開板
者也

玉井如長

小傳馬町三丁目
本下長右衛門刊

国立国会図書館　タイトル『三世二河白道』　請求記号 寄別5-5-2-2
ガラス使用

文化十四年正月

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

高尾[illegible]

国立国会図書館　タイトル『三世二河白道』　請求記号 寄別5-5-2-2

ガラス使用

乙京
388

国立国会図書館　タイトル『三世二河白道』　請求記号 寄別5-5-2-2

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『三世二河白道』 請求記号 寄別5-5-2-2

ガラス使用